

名家
画谱
春生

春生



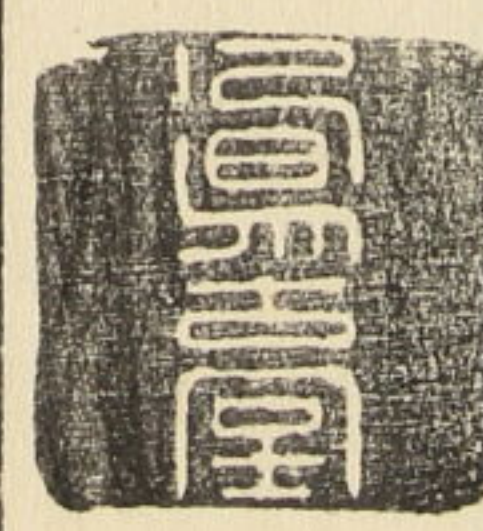
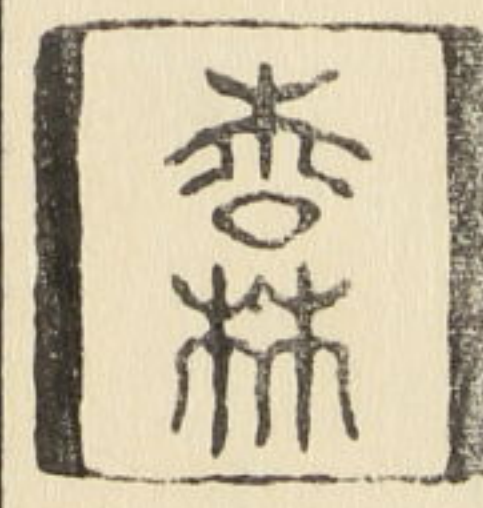
春を載きくありて車ふを何字と
積るんふ玉積つるるきり満ち
之心ふり積雪みりり埋もれり
雪を吉と那く堀出きん人きん
てもあらぬ了し大朝茶のあし
中き程しむら母おきものからぬ答
あはれぬし信終ら甘あはるる那も

亦保志のよりなりたる様そのも一葉殊
きくきく智心は深くしきき孺子
果やと農家摘花はうりやるふ
名句はかぶりといはれは是れ採者
花は筆は軸は筆波の浦は世は
此は是れは是れは是れは是れは
風花はらりや若く四方は世は
花は是れは是れは是れは是れは

百は千種は雲は雨は雪は
画は是れは是れは是れは是れは
農物はそののまはる世は是れは
さきしきききききききききき
側は是れは是れは是れは是れは
花は是れは是れは是れは是れは
津は是れは是れは是れは是れは
花は是れは是れは是れは是れは

布、岐の毒を空に雲中へ吹かす
 標、赤木をくちぎるなりと
 一、つらつら福と云ふ玉を
 まらしき業ちからに甘くし

松林鳳其屋書



春といふと糸の 楚山

先四福壽草子

天の産乃 ありて

一夜子や、あし

千雀女

福壽草子 嫁乃

らんま子 袖くさる

里妻

ぬえ妻草子

実ふくしうらぬ

春をまよひて

素仙

みくひのれ 卯くまの 卯のく 武實



福壽草
元日艸

翌日も咲

元日さきのつやに哉

イセ 萱史

福寿草の

挨拶に咲あり也 秋甫

萱草のよも子

咲り福寿草

凡 白慶

春の白とさかいてはなす福寿草 萱草

花のつゆに

大道

紅流のつゆ

まのよも子

咲りつゆに香穂

袴着て

福寿草

居之

よも子もちて

花のつゆに福寿草 萱草

少年

由磨

うせのあき世やうはさく福寿草 虎有

水招り押 花のつゆに 所 如 葵 芥

押をて 浪のつゆに 武貴

芥摘り 浮雲 水鏡

花をて 友のつゆに

芥摘り 浮雲 水鏡

あられのつゆに

花の外に 浮雲

花のつゆに 浮雲

芥のつゆに 花のつゆに 水の花

うすらひのつゆに 芥のつゆに 其角



摘れてもゆり花咲き茶うぬ武豊

一撮小葉のほふ水球

瞳ついで芳も 芥子草

名うすを芥子草 芥子草

曠も界一芥子草

きりきりか雨耕

姐板小

のせれえ 疾維

白く芥子草

芥子草も中えん芥子草の根 大獲

芥子草の春の湯を芥子草の草 芥子草

七持の中小つと芥子草の草 芥子草

我輩うらまへ花の芥子草の草 芥子草



芥子草

月小切て

鼠麴草摘也

山ろ奇花央

遠近の妹山嶺山

母子草 女松花

あつしれ名く

芥子草の母子草 芥子草

中山の條巾也

母子草 一枕

人々只名く

芥子草 芥子草

芥子草

ここららの

小張り

水たよと 芥子草



芥子草

若菜つむ日々に 楚山 折すの

うもたふしそふもふし

雀原よりそふて 花橋 咲く若菜

摘よりの若菜うす 序香の 只冬

破よりの若菜交りて 若菜摘り

若菜の初音小 東雲 河の吹武費

つむの若菜 祇園 永舟小 且見

若菜道よりそふし 楚山 若菜つむ門

若菜摘りて 小畑の若菜 ともふし

少の若菜小雨もつむの若菜 楚山 露の若菜

若菜の若菜 東雲

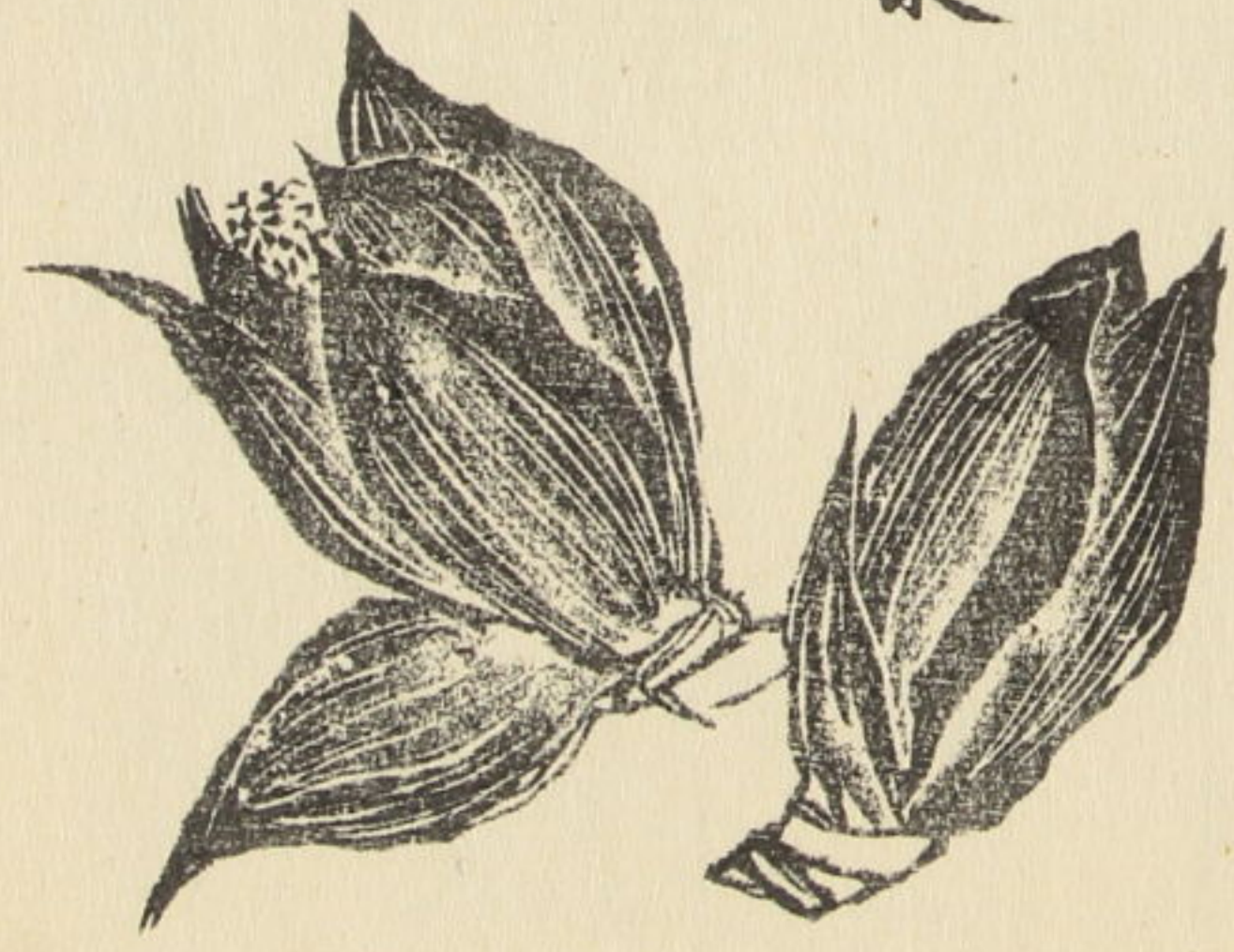
藪添りの若菜小 茶泉

若菜の若菜 武費

若菜の若菜 白黛

若菜の若菜 傘の若菜

若菜の若菜 且若菜 若菜の若菜 若菜



露の若菜

空ハヤク曇リ

ツラブリ

三のそ芥雙山

花よりどり

新川

らるそ芥風斜

春あけのぼり

星もよ欠菜摘

うん赤き根奉

おさしき坂菜成下曉

池のあもこりす 雙山

規菜より赤う形

三葉芥



ヨメナ
規菜

あふりいふもか

岩根多 武費

あふりいふまき

うけあふり車來

あふりいふの 懐玉

信じてのり

あふりいふの 野伯

つれづれ先の名あふり

あふりいふの 停機

やうれ七め

あふりいふ

子のりてーおと娘むらへ 雙山



筆草

最一送者の自燈を楚と

くめ丁子子

夕とれろ

録車

雨を白の丁子子



丁子草

目とて一

とく一の名の

尾

尾花

丁子子

葉と白以えよとて

楚と

菊
キク
キク
根分

葉苗を

葉の若葉を

中々小極

けりやうち

雀巢

淋しみのと

標康

くや白へと葉の苗

葉極を

のけと

葉の芽うけ

岳芝段

茂堂

極して遠く

葉の芽かうち

イセ

えぬ

傘

よめ小雨

葉の

根分

うち

虎有



和潮

夏山

秋

子厥



蕨
子蕨
蕨

蒲公英の畑

敷子

唐き此の川

岳芝

敷子の花

胡荽

此の社の新

新しはみ子雙山

り奔る女境

蒲公英

丸懐哉 芝方

蒲公英

敷子の河

此の川

可也



赤波の音

敷子の音

ひし道 至善

人乳の

一日

鬼有



一各ツバニ
弁トモ云

大いしり包ふれ

スキ十
萩葉

此よりう萩葉式 楚山

此より牛より号味 花鏡

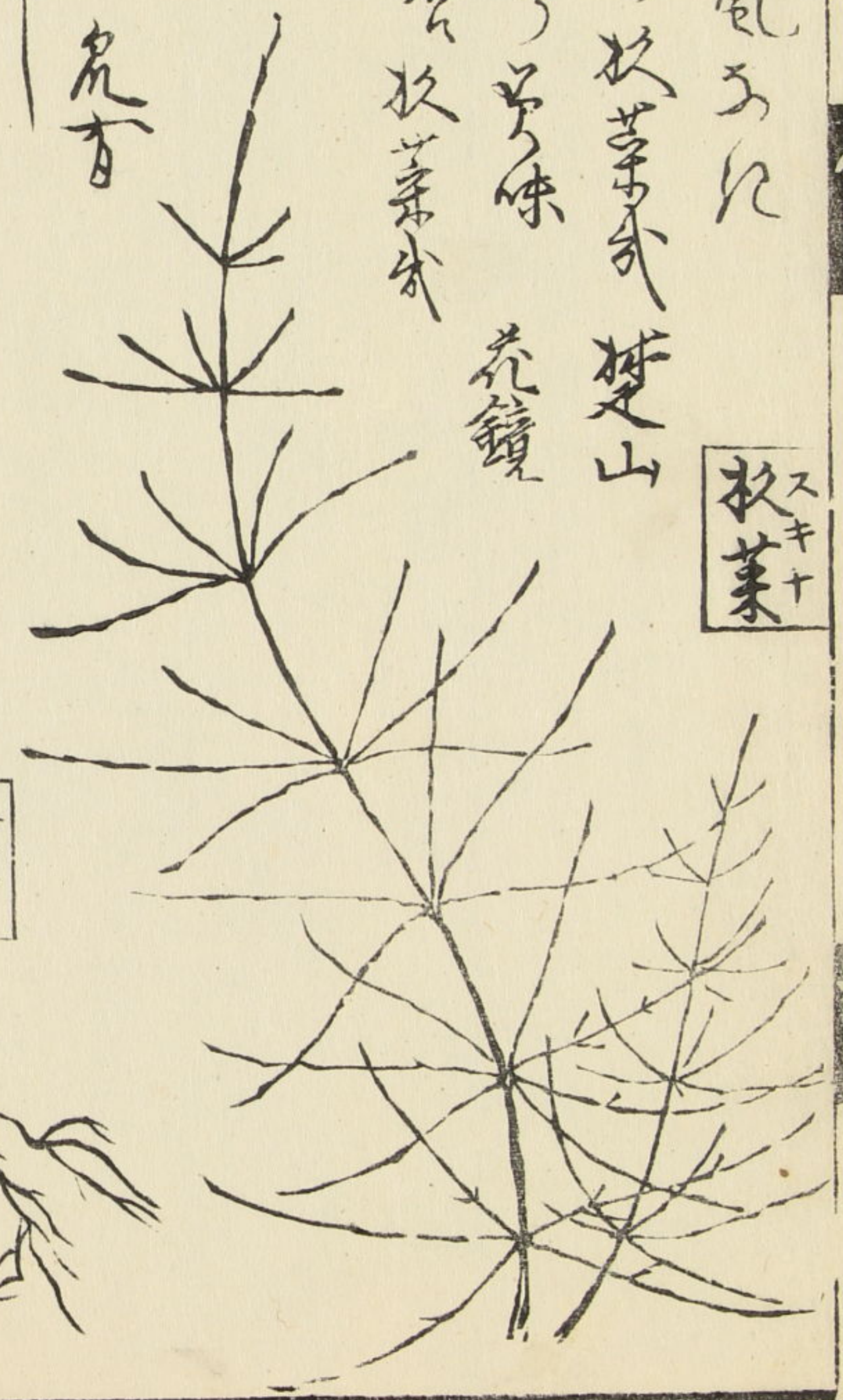
つら山 萩葉式

はらふ

萩葉

子供也

つら山 萩葉



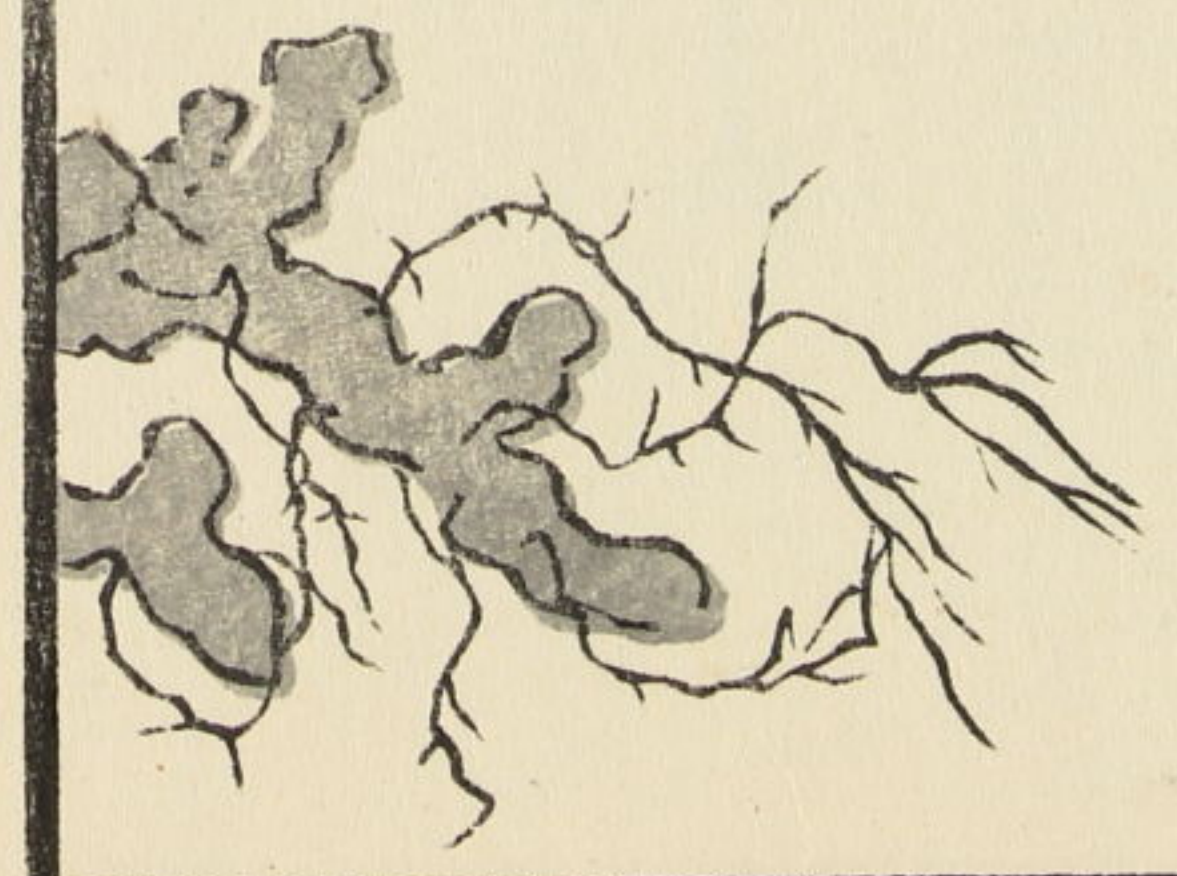
トコ
萩

此所萩と号し

とて萩と号す

金毛

此所て名を萩の物と号す 萩式 楚山



萩花の種子

後れりて行つ

楚山

人の名を西小

ぬりて萩葉

三
兔月

撰りて干す

ヤコ子

此れ萩花の葉

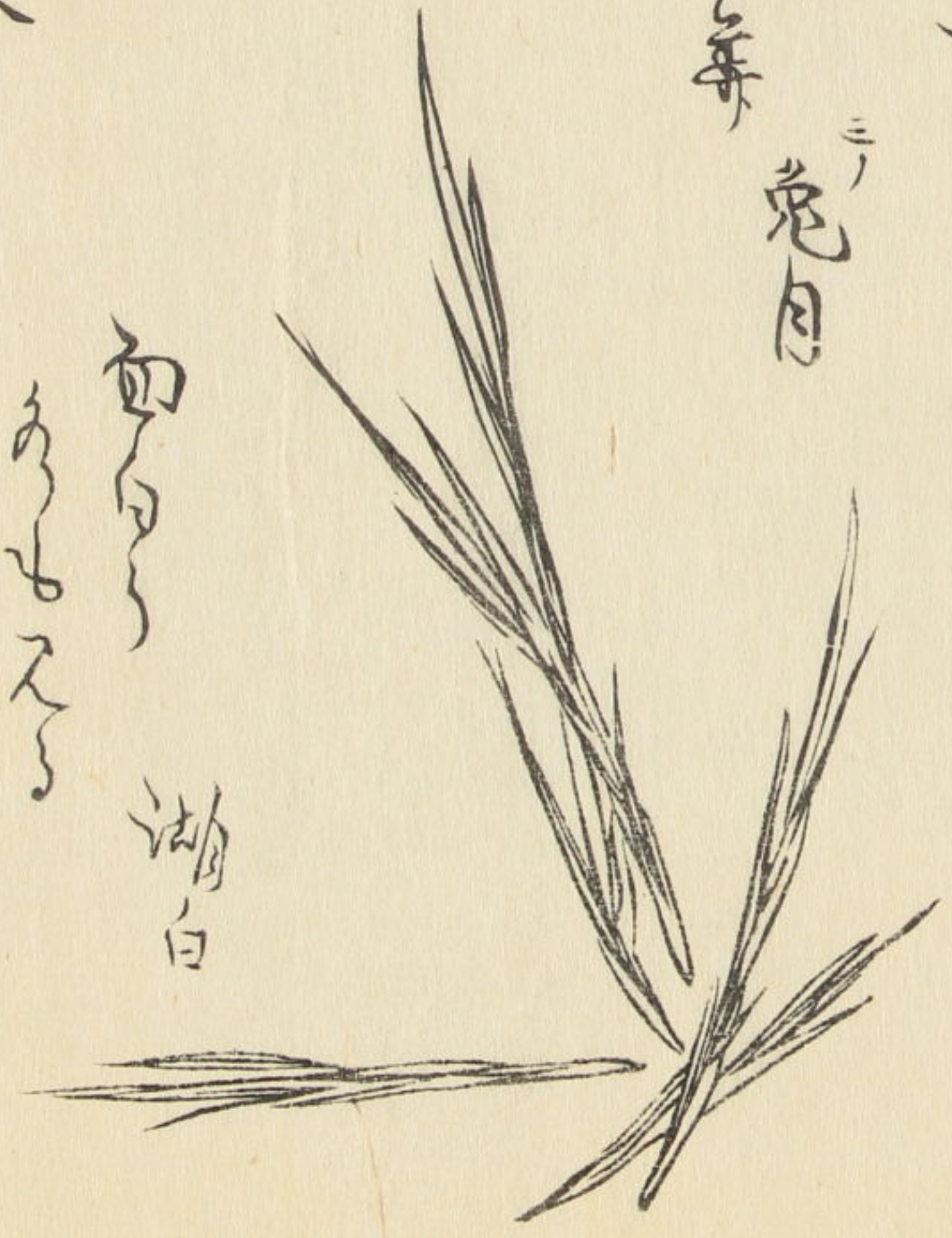
五羽つらふ

小まねるるる

流左

萩葉

人より別れりて萩葉と号す 萩有



面白

あもえ

日

此れ萩花

湖白

スハ十
萩花

水乃ゆきし流る

花

ぬき

の

白

くちま

花費



花鬘草

猿子奈ふの豆のち一重哉 可う
根十指の花の余指のさうな子 可碩
むの春の侍子や
さくらんぼ 夜ト
欲深く極意へり
さうな子 其雪
さうな子さうなハ
花より猿草 席ト
門て唐のさ子難の
砂やさうな子 席ト
下流えけく並て
善て猿草 眞公女
妹作の血先 女
さうな子 眞斗
さうな子 眞斗
さうな子 眞斗



櫻草

玉仙

蓮花

蓮花

蓮花

蓮花

蓮花



俗ニ蓮花草ト云

蓮花

九輪草

蓮花

蓮花

蓮花

蓮花

蓮花

蓮花

蓮花

蓮花

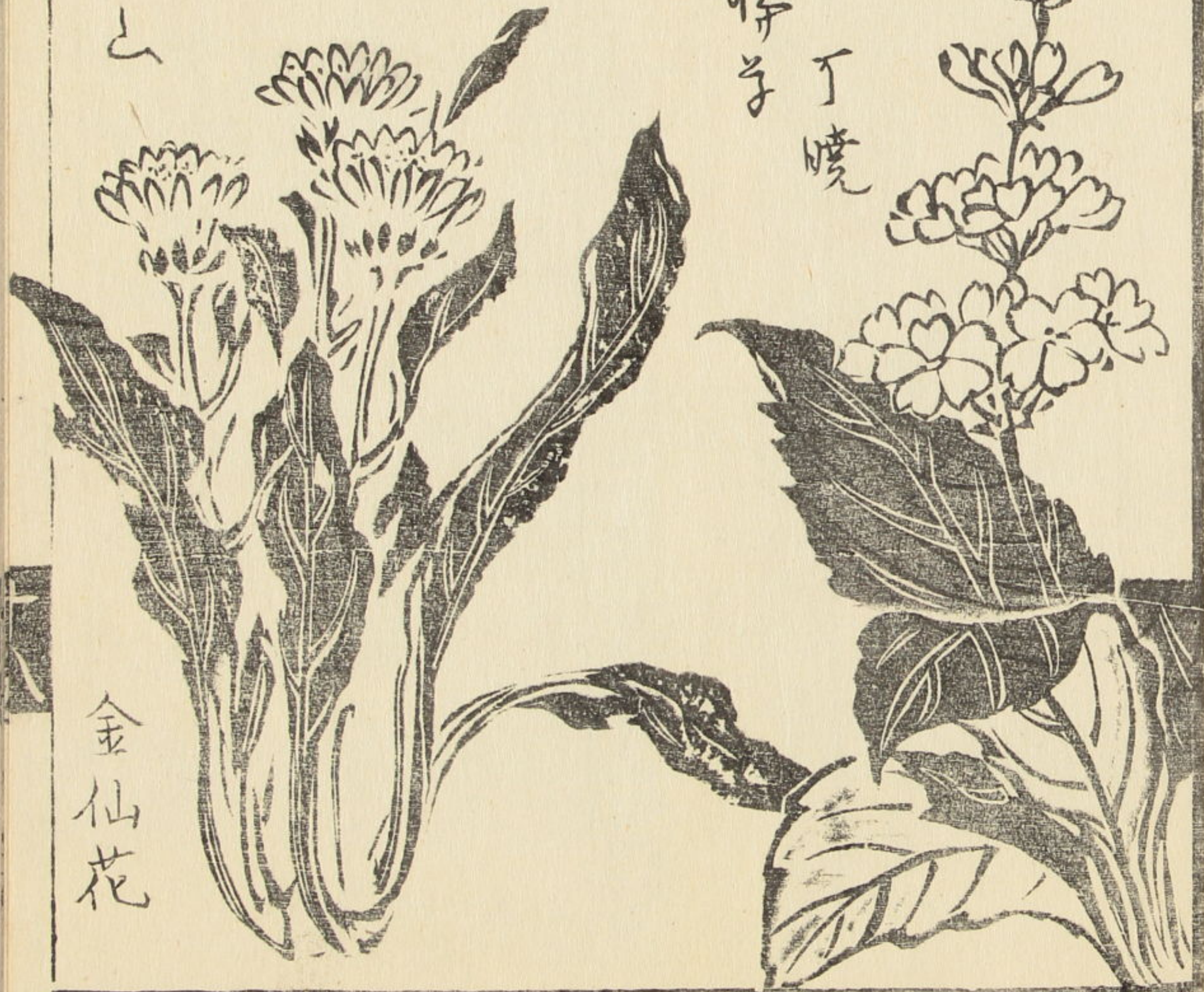
蓮花

蓮花

蓮花

蓮花

蓮花



金仙花

申枝アツキの小笠原子の大武井
 三河
 遠きサ敷の道 東雲
 近き一雨ハ
 イレ 雀巣
 虎杖と自も



イタドリ
 虎杖
 サ井タツヒ

虎杖と自も
 野原
 菘のうし淑く草
 申枝アツキ
 虎杖の道 川
 虎井
 了りりり
 り氣也
 橋
 ぬ
 たまり水 楚山
 申枝アツキ
 虎杖の道 川
 虎井
 ぬ
 たまり水 楚山

草の芽
 虎杖の道 川
 虎井
 ぬ
 たまり水 楚山

蕺の芽
 未だのそり
 雨のそり 楚山
 蕺のそり 楚山
 えりりり 楚山

蕺ノ芽



虎有
 蕺の芽を
 草の
 草の
 虎有

草ノ芽
 虎有

春蘭
ホクリ



春蘭咲
山崎口 泉
花折乃
唯母き日也春蘭咲武費
中下馬を掛
雲志来乃



雨を乃きも
る遠き鳥い旅うち
賞ちの欠いの 武費
さう原 好三
化倫外
あまハ
界あき
きしれ化倫うち幸二洞
ののちち
あさらるるい林外七長
雨小凹む化倫の
さハハさる水馬靴
のさうたの
あてうか化倫了南 信
さぬくささる小を乃化倫子 斐之

化倫草

雨くちの吹 サツマ 世帯三
 と家心 金鳳花

うにすハ

名小く

金鳳花

宜角

長留き心

丸崎

金鳳花 呆松

雨いとふりしきハ又えん金鳳花 雙と



金鳳花

苗代 ア 豆く

苗代

流き羽如 走く伊勢と糸く雀人

月也 苗代 田乃 水長者 九山

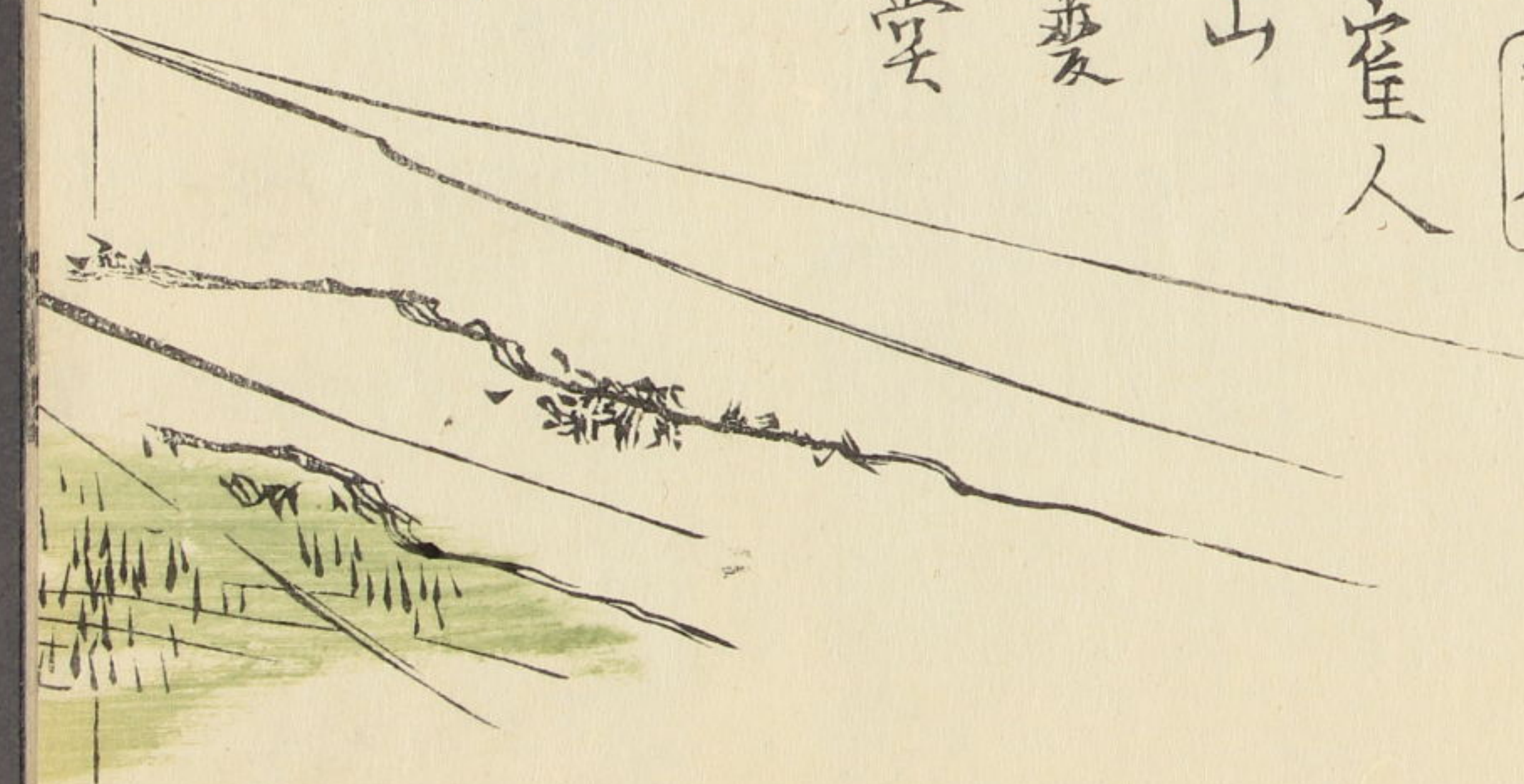
苗代 ア 眠く所之 苗代田 湖菱

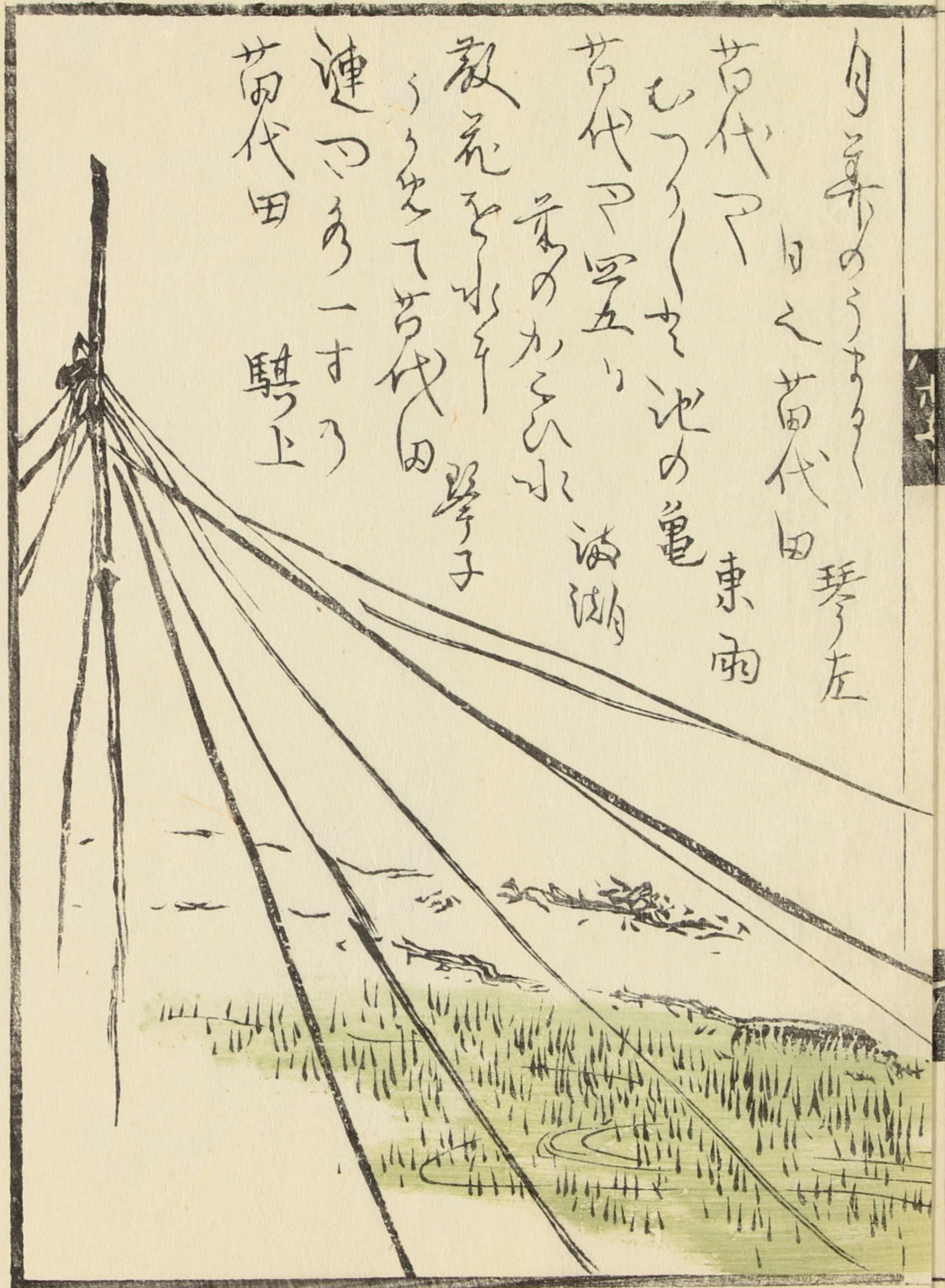
苗代 ア 多羽田の道乃 石丸 野堂

水音也 苗代 ア 多の川城を削り飛 田口

苗代 ア 少い耳 染く 苗代田 野

苗代 ア 多縁の之く 山乃 紙加 笛





月夜のうさぎ
 日く苗代田 琴左
 苗代ア 東雨
 ひつろくを池の亀
 苗代ア字五り 波湖
 意のかよ水
 散花を水干 琴子
 うきて苗代田
 連のありすう
 苗代田 駒上

薊
 鬼薊
 眉作花

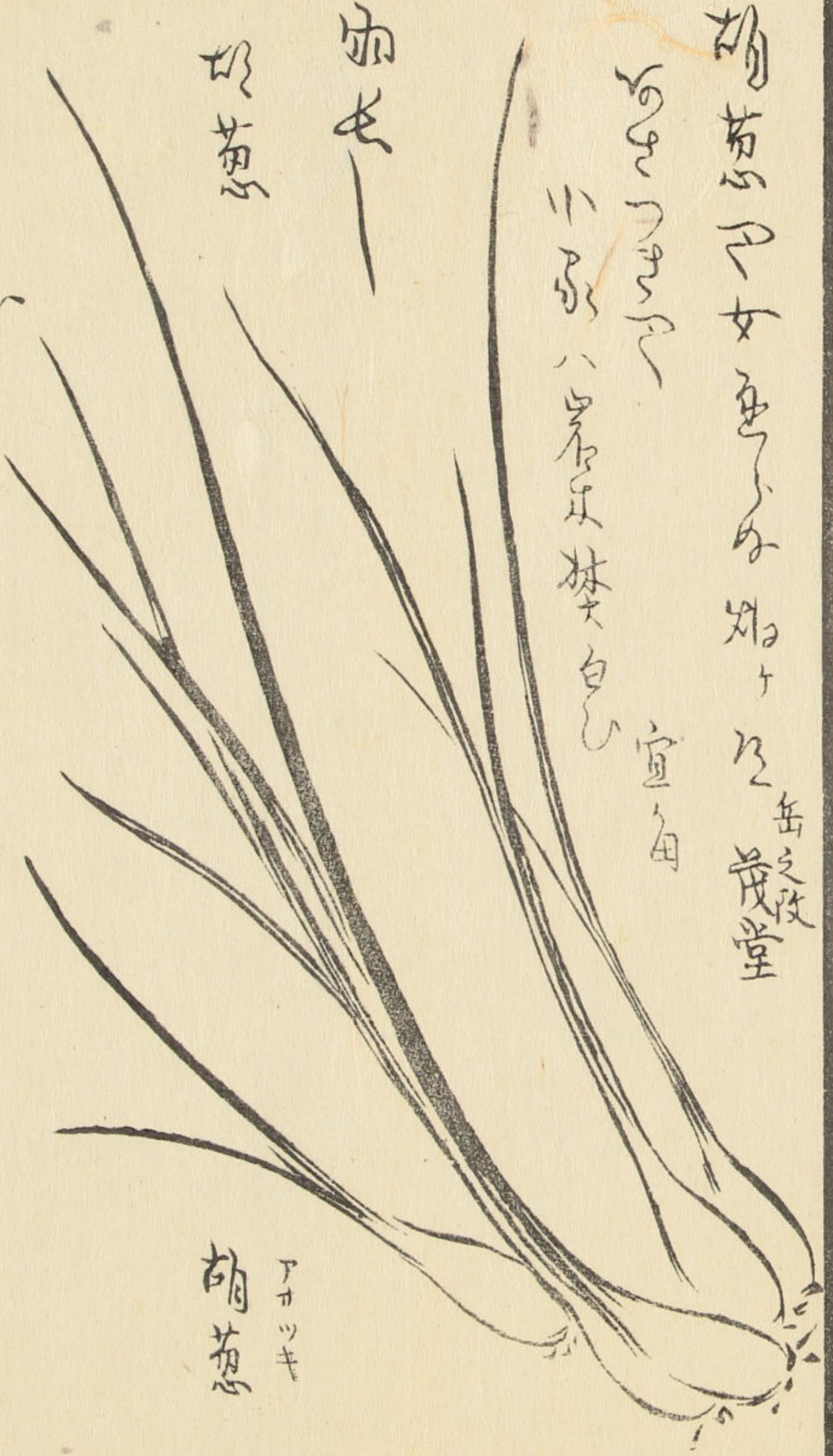
残る家の朝や薊の花の雨 雙山
 降極る日燈のさよの班入哉 二笑
 此書下の葉山とてん 薊うち 牧子
 葉小角ハ
 たんと
 りれも
 白薊 花鏡
 免薊
 三つり
 仁境 梅扇
 永りのさうし
 え申し薊の形 白鷗
 薊咲ア 堰の上 花有



近頃の胡葱を引くは其葉

好葉 粉菜

きんぎょ



アハツキ 胡葱

胡葱

胡葱

胡葱の女色は如く 岳之段 茂堂
宜角

きんぎょ

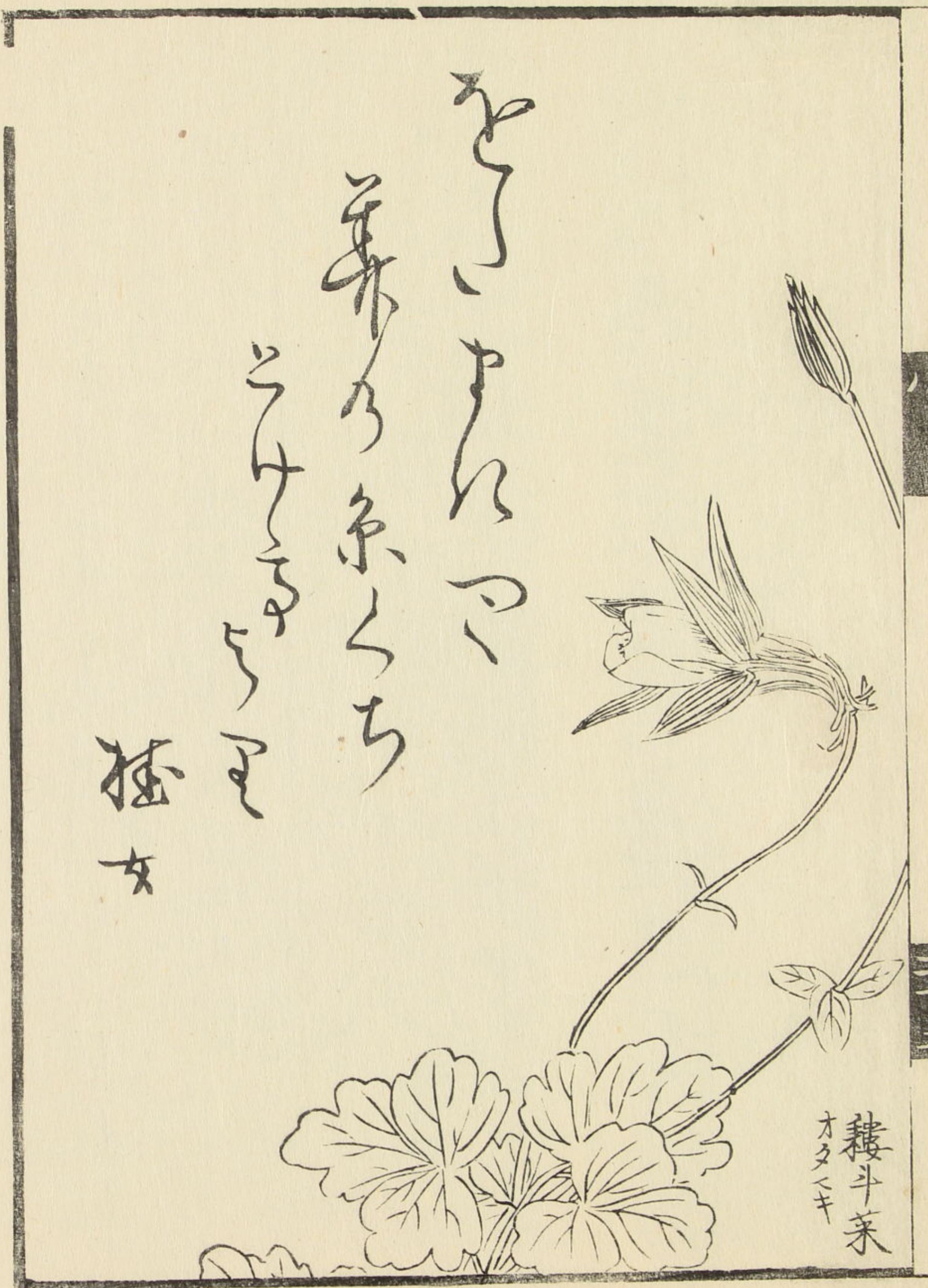
きんぎょ

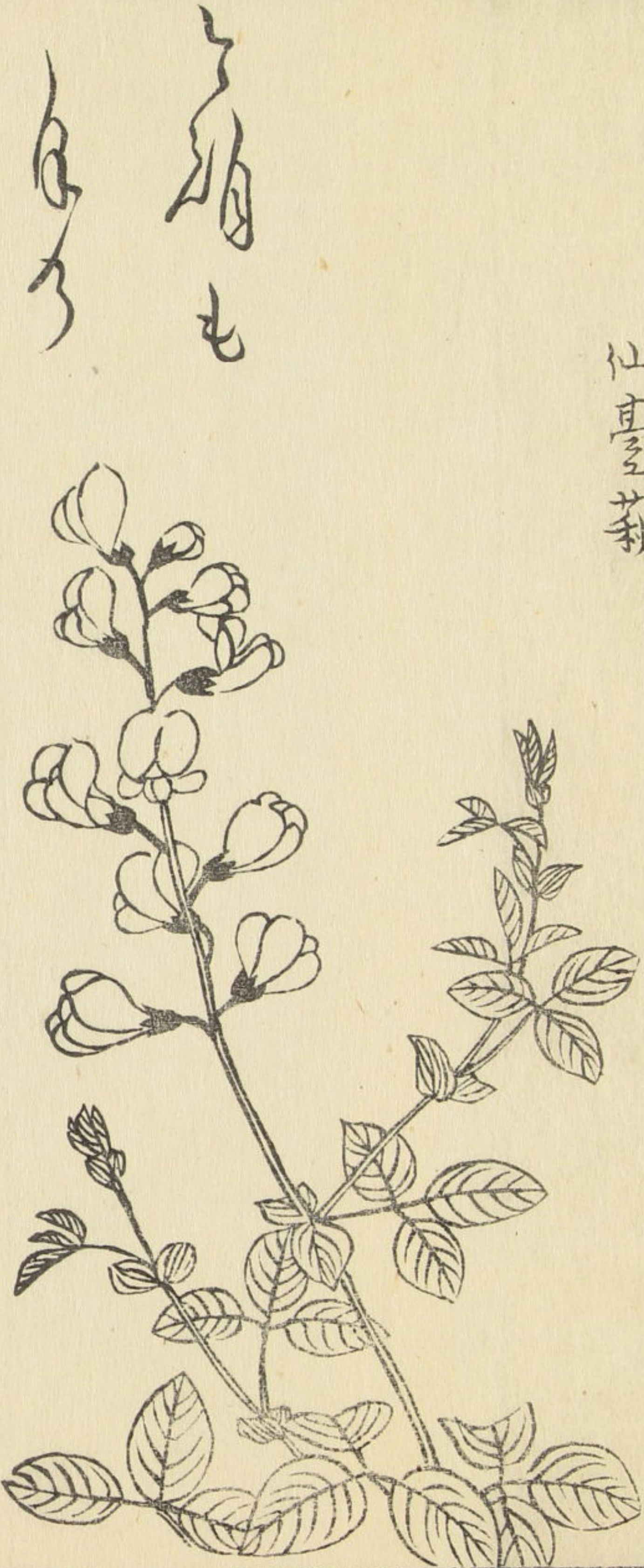
きんぎょ

挿女



オタクキ 穂斗菜





仙臺菽
秋よ
花のよ 楚山

曉し心かましも花の葉 宜る

友岷や三日月の

花のよ 楚山

毎の葉小

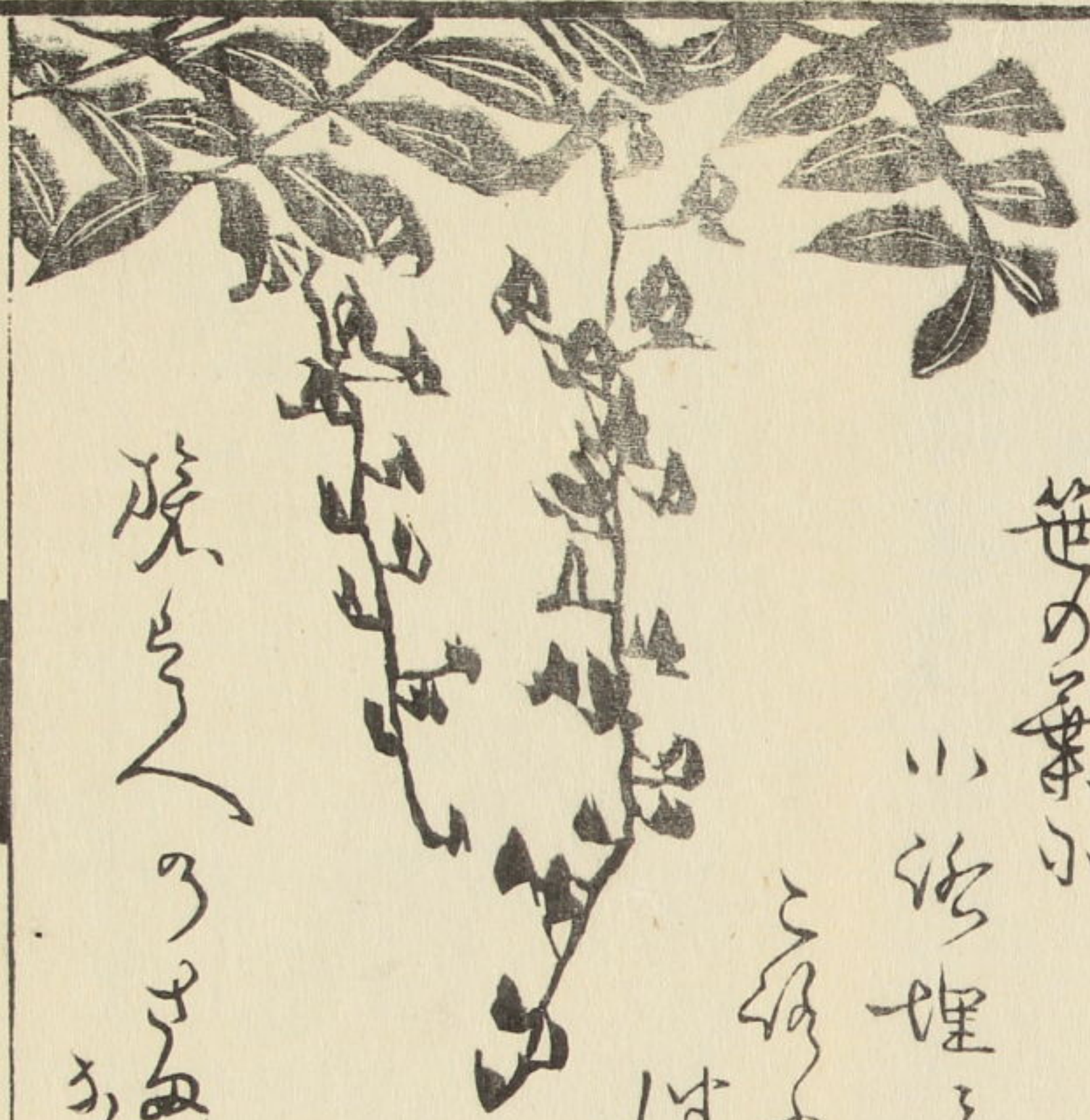
川流埋まてやらの花 其江

と花のよも花の

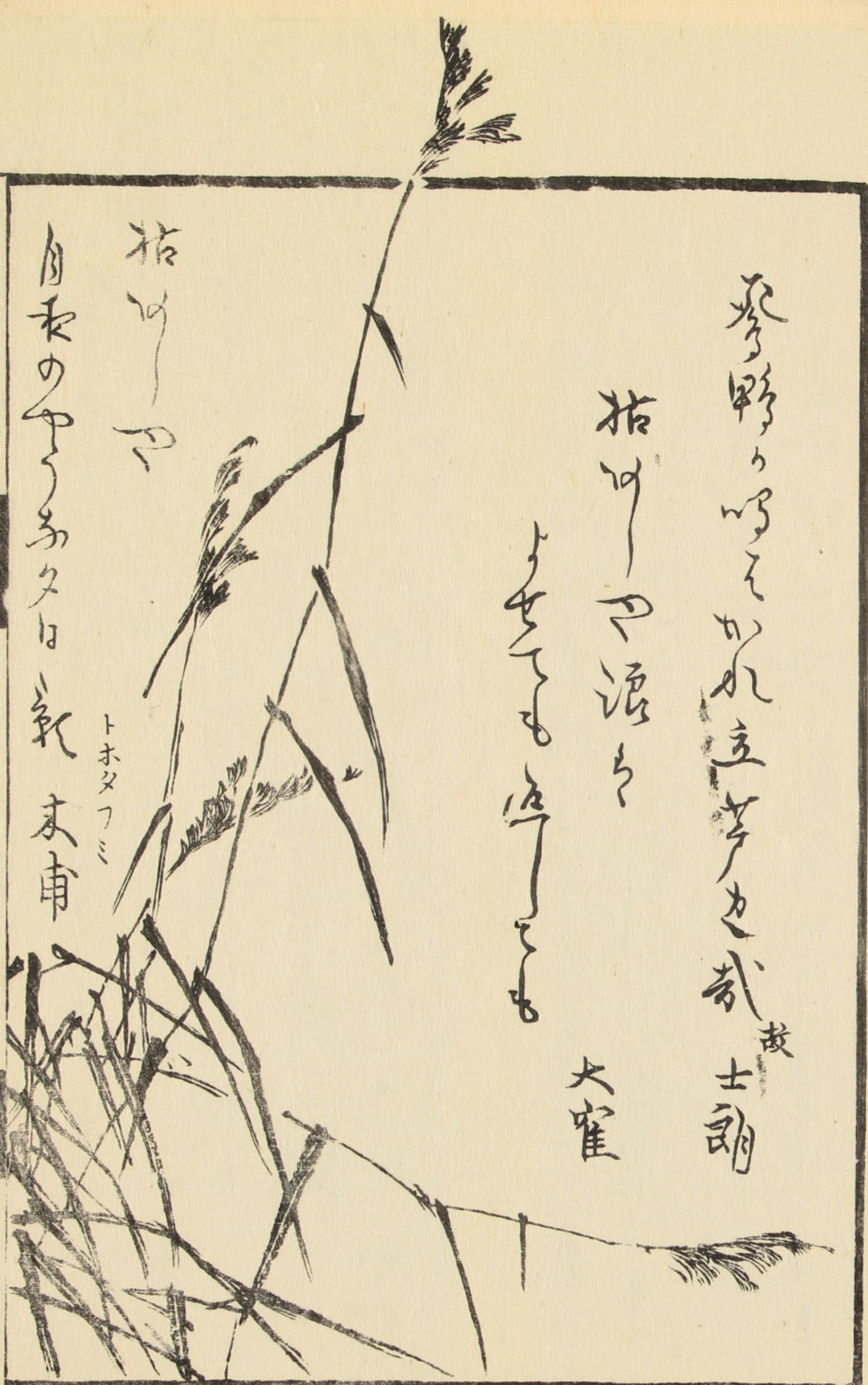
はるも 小谷越 花陵

春よすての

道法はつ 梅里
あまの光



曉きく 三日月
あまの光 楚山



草野り鳴そ かしまき草か哉故 士詞

枯り 口 浪り

よせも 遠し とも

大窪

枯り 口

月夜の中より夕日 乾 末甫

トホメフミ



此の葉は いまのく 沙路 友乃集

けりやちのよりあ

棠棣

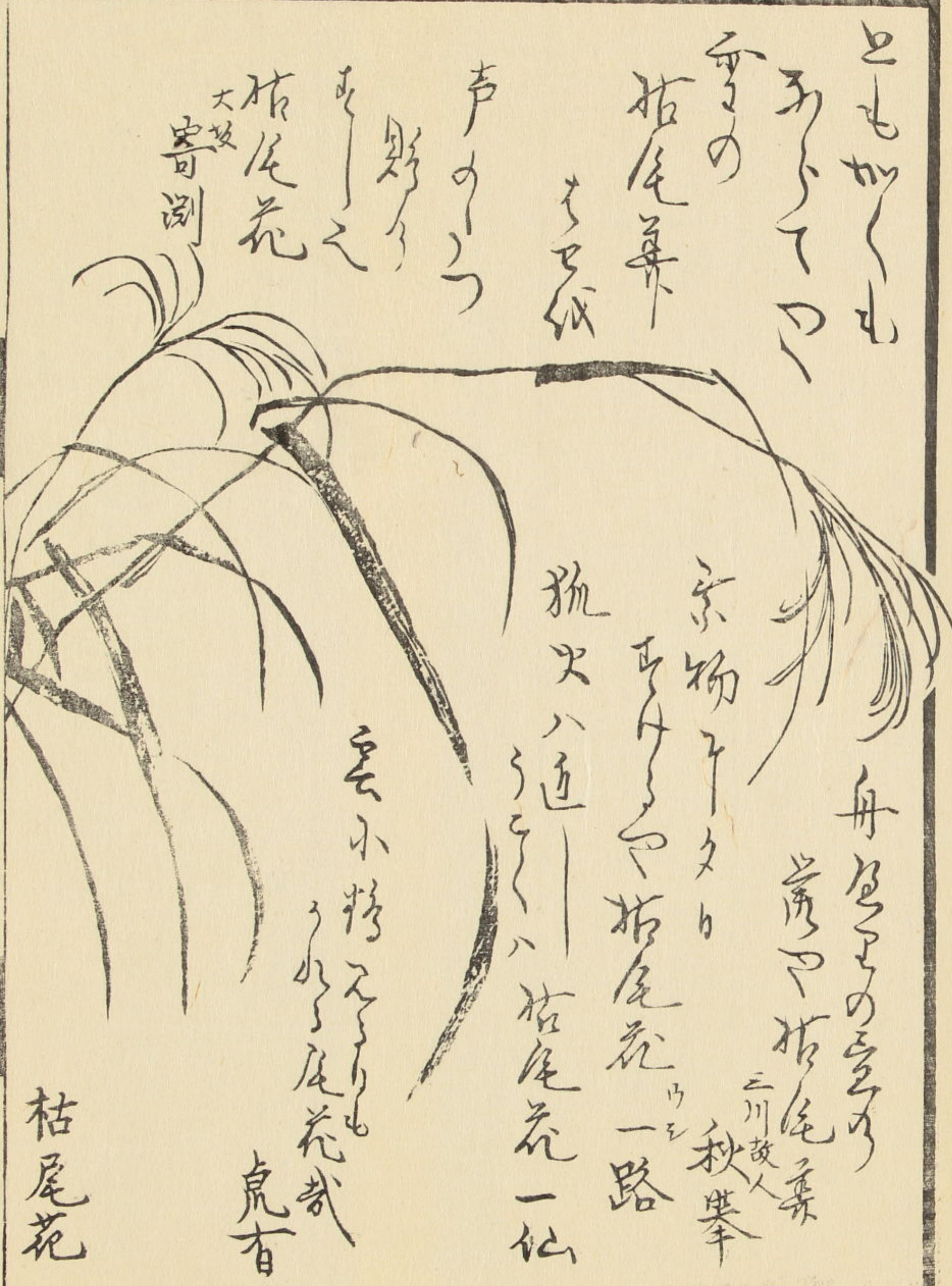
友よつ 水一きゆ 名有

藤
フキナミ
 フキカワラ フキワル
 フキナミ フキナミ
 フキナミ フキナミ

枯芦のりりも車へ折れ小りも 古人 船門
 可小芦の海士り子絶ふ年計り カマ 舟
 音もせぬ新し小枯り浦の芦 五七 珉古
 枯芦の安達り系方珍子履 下曉
 聲を小枯もそさく浪乃可 秋朝
 可小芦の秋返りしは是の秋 梅里
 野鳴く枯葦作り芦多きり 其白
 枯芦の中小つよる可小葦風 竟士
 枯芦の系海し四浪乃舟 雀巢
 舟小焚火のり小芦の尻鳴り 尾首

ともかくも
 ありてり
 舟の
 枯尾葦
 声のりり
 影
 大坂
 寄
 枯尾花

舟のりり
 落り枯尾葦
 系物りり
 舟のりり
 枯尾花一路
 荒火八道
 舟小枯り
 尾花哉
 虎首
 枯尾花



栞シロク松小別コト芒ムギ吳山ウゴ
三日月ミツギのこゝろココロ朝アサのノ花ハナ 岳ウツ茂モ堂ドウ
小コのノ道ミチ也ヤ 故山コト夕ユフのノ小コ

栞シロクのノ花ハナ 雀巢セウカウ 栞シロクのノ花ハナ 上ウヘ河カハ丸マル

聲コエもつモツ尾ビ花ハナうウちチ 芝石シヤク

芒ムギのノ花ハナのノ心ココロ 栞シロクのノ花ハナ 霞亭カスミテイ

人ヒトのノ身ミをヲ洗スせセてテ栞シロクのノ花ハナ

集ツふフふフふフのノ 栞シロクのノ花ハナ 松子マツコ

道ミチのノ花ハナ 信シ之ノハ 若人ニギヒトのノ心ココロ 九音クウオン

栞シロクのノ花ハナのノ心ココロ 若人ニギヒトのノ心ココロ

まマのノ心ココロ 栞シロクのノ花ハナ 大雀オホセウ

眼メをヲてテナナりリのノ心ココロ 水ミヅ仙セン葉ハ 離リ當トウ
水ミヅ皮ヒのノ丹ニをヲつツくクのノ心ココロ 李リ風フウ
てテくクのノ心ココロ 只シ白ハク
水ミヅ仙センのノ葉ハ子コ玉タマ 虎コ有ユ
色イロもモ香カウもモ水ミヅ仙センのノ葉ハ 虎コ有ユ
水ミヅ仙センのノ葉ハ 多タくクのノ心ココロ 代ダイ山サン雲ウン
水ミヅ仙センのノ葉ハ 朝アサのノ心ココロ 長チヤウ十ジュウキキ克キヤク
水ミヅ仙センのノ葉ハ 祥シヤウ余ヨ
ゆユつツきキのノ心ココロ
子コのノ心ココロ
坤コン南ナン坊ボウ



水仙花

折子 蕪子 蕪子 小 牧子

赤味 蕪子 蕪子 蕪子

蕪子 蕪子 蕪子 蕪子

蕪子 蕪子 蕪子 蕪子

壬生寺 蕪子 蕪子 蕪子

蕪子 蕪子 蕪子 蕪子

蕪子 蕪子 蕪子 蕪子

蕪子 蕪子 蕪子 蕪子

蕪子 蕪子 蕪子 蕪子

蕪子 蕪子 蕪子 蕪子

蕪子 蕪子 蕪子 蕪子

蕪子 蕪子 蕪子 蕪子



蕪子 蕪子 蕪子

蕪子 蕪子

蕪子 蕪子 蕪子 蕪子

蕪子 蕪子 蕪子 蕪子

蕪子 蕪子 蕪子 蕪子

蕪子 蕪子

蕪子 蕪子 蕪子 蕪子

蕪子 蕪子 蕪子 蕪子

蕪子 蕪子

蕪子

蕪子 蕪子

蕪子 蕪子 蕪子 蕪子

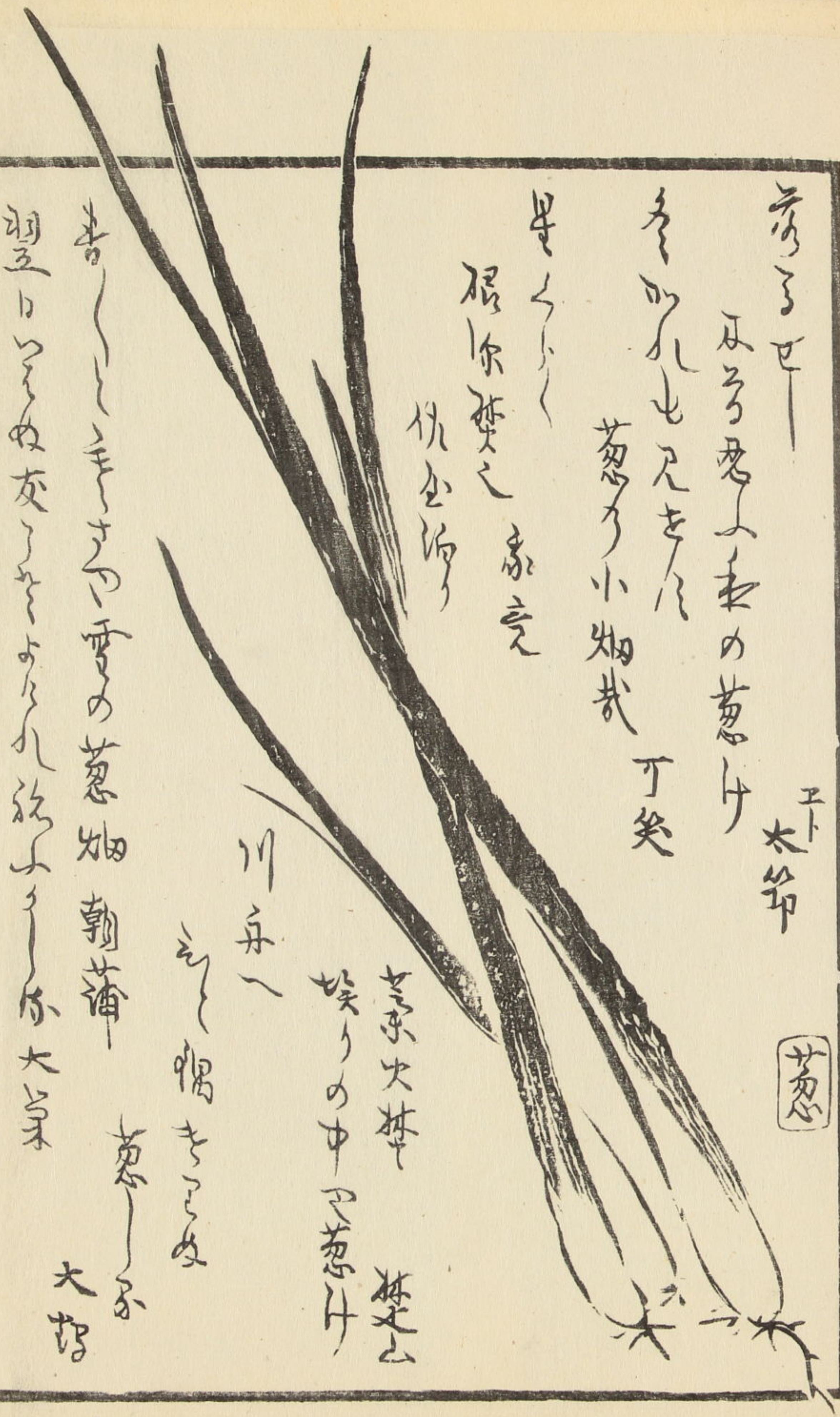
蕪子 蕪子

蕪子 蕪子 蕪子 蕪子

蕪子 蕪子

蕪子 蕪子 蕪子 蕪子

蕪子 蕪子



子韮の根心より

一まきつゝ力く

大いハハの

くありちり子秀古

力子引て

信 景兒

え小りり批る子

信

何て何れ極

續丸

子力かき

自力えの

新山もよ力子 野果

雲のりちの

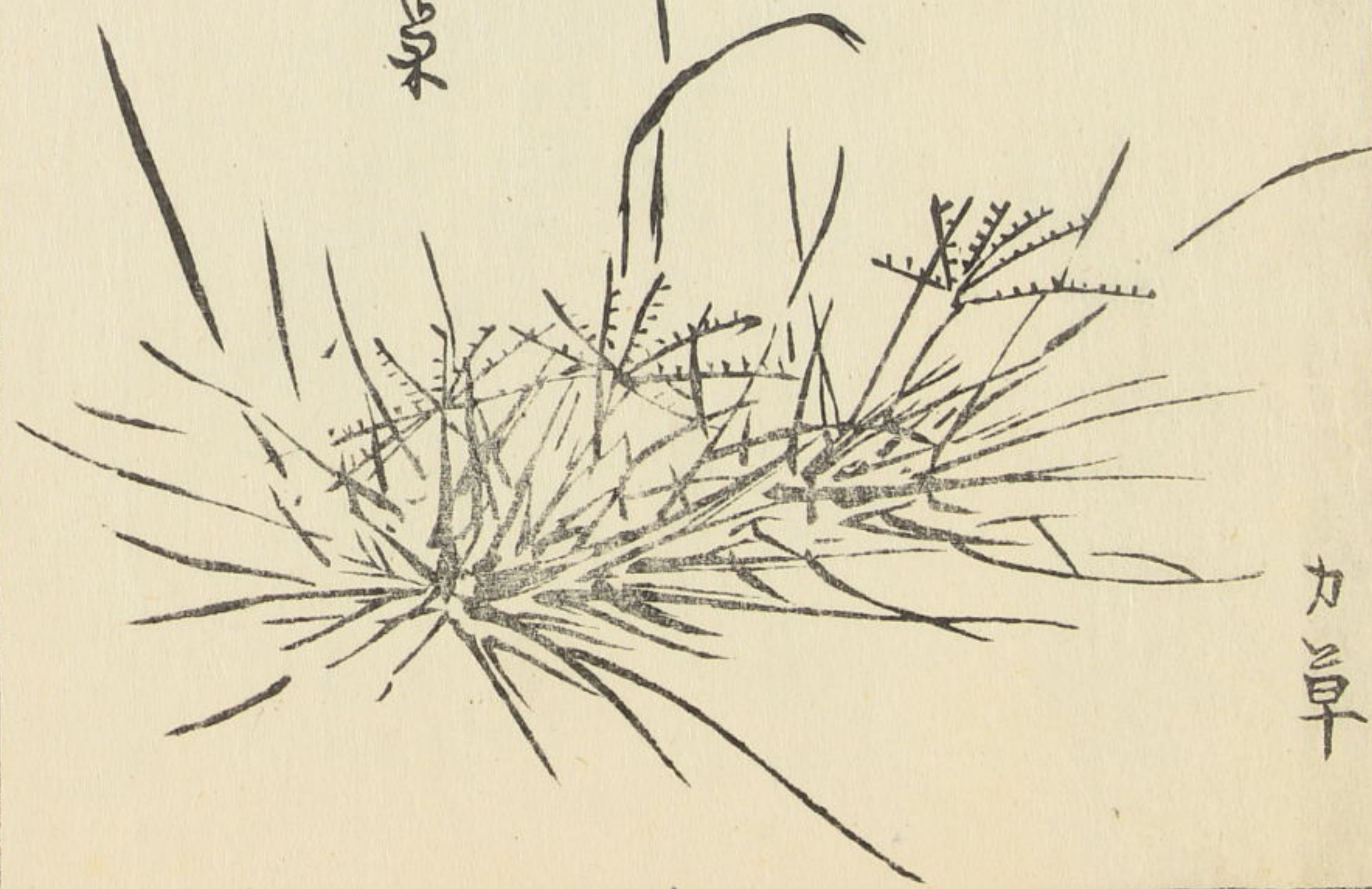
故山

仲はちのり子

虎有

道いん

陰いん力くき



力草

穀つる小小坊

のり大根引 翁

浦風乃りを流

くれ小大根引 而名

一ちりりりて丹左根

白

小中りり小寺よ

三折 金羽

ちて大根引

出物ハハりお

あり大根引 西腹交

よくえれを女

成り大根引

よりりて

り小元格

ち天の葉源

大根引りり

野芝山

約小蘇

初りり大根引

大雀

遠いり雪え申り

り大根引

虎有

大根



秋の月帯もなほ石菖の花
 石菖の花板も先性なり
 つも花乃葉水と手し
 つも花乃葉水と手し
 つも花乃葉水と手し
 雨耕

石菖花

石菖の花

花大いなり

大の子の

主長花

花大いなり

花大いなり

花大いなり

花大いなり

花大いなり

花大いなり

花大いなり

花大いなり

花大いなり

花大いなり

花大いなり

花大いなり

花大いなり

花大いなり

花大いなり

花大いなり

寒く果つ

人うくく

日教さん

東路

雪と子供

楚山

寒く果つ

ナラ

東路

楚山



桃堤

可曉

寒く果つ

寒く果つ

寒く果つ

寒く果つ

寒く果つ

寒く果つ

寒く果つ

寒く果つ

寒く果つ

寒く果つ

寒く果つ



牡丹 二葉

冬

冬

牡丹の

葉乃之

冬牡丹
八月ヨリ葉出
十月ヨリ花咲
葉葉猶花アリ

